



サカタニ友の会ニユース

発行者
株式会社サカタニ
集西楽・サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・
東山区七条こころ坂下
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-Mail info@sosake.jp
とんからりんは
毎月発行の
会員新聞です
編集・西谷義郎
yosi rou@sosake.jp

男は何時から「月」になったのか！

た。戦後強くなったものは靴下(ナイロン)

1月20日第日曜日定例「第37回朝粥を食べてオシヤベリ会」を開催した。

いつもは30名定員だが今回は新年初めてお申込みの方36名にご参加いただいた。その内訳は、

男性3名・女性33名である。

今回だけでなく常に男性は少数派、たまにはご主人と一緒に来てと訴えたが変わらなかつた。

マダ百年経たない明治44年(1911)年、女性解放運動・婦人運動の指導者「平塚らいてう」は『青鞥』創刊の辞(1912)で「元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性月である。他に依つて生き、他の光によつて輝く、病人のやうな蒼白い顔の月である」と書いた。幾多の運動と戦後



平塚らいてう 1886~1971 憲法で男女平等が明記され

たのか、フアミマに来るペアーの多くが女性に買物の指示を求めそれに従っている。活動的な夏の「太陽」のような女性が増えるに比例して忍耐力で動かない男性が増えた。【前世紀、男性は太陽だったが今世紀半ば月になった】と嘆きたい程。男性よ！負けずに街に出よう。「おじちゃん会」でもつくらんかい。さて、当日、亀岡市の

長栄山法華寺住職杉若恵亮様の「素晴らしきインド」のご講演。

生き方、思考、価値観感などの日本とインドとの差について軽妙なお話で、大いに笑い盛上り有意義な朝粥会だった。

日本酒・アメリカ・ヨーロッパ伸びる

地酒「大鬼」米国へ輸出好評

宮津市のハクレイ酒造(中西哲也社長)が福知山市大江町産の酒米、五百万石で造った純米吟醸

生原酒「大鬼」が米国に輸出され、米国の寿司屋や飲食店などで多くの人たちに飲まれている。



日本名門酒会参加の酒蔵と共に数年前から輸出してき

た。健康によいと日本の食ブームの米国で日本酒のフルーティーでスッカリ味と香りが大人気。昨年の倍以上の出荷が見込まれている。因みに当社は「大鬼720ML・1800円」で販売しているが米

国では(邦貨換算)5000円とのこと。このお酒ととは、26日に日経、京都新聞他に掲載された。

「どんつき」

年中無休24時間営業のコンビニをして以来22回のお正月を迎えたが、その間殆どテレビを見る機会(時間)がなかった。

今年も珍しく風邪を引き見るともなく眺めていた。先取り録画番組が多

いのか感動したのは箱根駅伝実況中継くらい。目についたのは大食い

早食いや変な格好をした。日本語を知らないよ

うな芸人が出ている前撮り録画番組、舞台(演芸)中継も手抜きが目立つ。

グルメ番組では「柔らかい。ワーおいひくい(美味しい?)しか味の表現を知らない芸人たちが何と多いことか。美しい日本語は何処へ行った。

某国営的局以外は何所にチャンネル廻しても似たり寄ったり、地デジ放送を始める前にテレビ局を減らす方が地球のため

に良いのになあと思う。鼻をかんだ拍子に、右耳が聞こえ辛くなり少し音量をあげた。CMになったトタン、大音声になる。これは大変と下げると、通常番組が聞こえない。

CMが最大の収入源であることは判らないでもないが、通常番組を見た義理でCMを見る視聴者として「音の押し売り」はゴメンこうむりたい。

CMといえはナシヨナル・松下を消し「パナソニック」という名前前に統一した。そう言えば「インターナショナル」の歌も消えたなあ。

とんからりん

アンケートにご協力有難うございます

12年前創刊した「とんからりん」の百号を前にしてご面倒な「アンケート」をお願いをしました。

物事や人生には、始めと終わりが有るものです。「とんからりん」の編集者は108号で終わりにしようと思っていました。

「集西楽サカタニ」スタートから「月刊」にしましたので、今年9月

で108号に到達します。そこでアンケートで会員様のご意見で継続可否を判断したいとご協力をお願いをしました。

1月25日現在で98通のご回答を頂戴しました。設問の一項・読まれ方

全く読んでない.....1 気が向いたら.....3 割合読むんでいる.....9 届いたものは殆ど読む.....85

の途中結果ですが想像をはるかに超える会員様がお目を通して下さいました。

寛容なお心でお許し下さい。編集者

用紙余白には、ご批評や記事のご意見、心温まる激励のお言葉、お叱りなど様々なコメントを沢山いただき有難うございました。

又ご投稿も数通頂戴しました。これでは108回で辞めたなど、自分勝手は許されません。

今回寄せられたご意見をとり入れて紙面向上をはかりながら継続してまいります。今後も今ままで以上に「ご支援をお願い申し上げます。

長年の生さまで、しみ付いた考え方は修正が出来ません。どうかご寛容なお心でお許し下さい。

編集者

ヨシイちゃんのひとりごと

少子化を喜ぼう

地球の歴史からすれば「瞬き」程前(戦後)人口が増えすぎるとサンガー夫人がと見える産児制限がもてはやされた。そのチヨット前の戦前戦中は産めよ増やせ！で子沢山は表彰。貧乏人の子沢山を防げとのサンガー夫人や山本宣治のとなえる産児制限は時の政府に弾圧されている。その一方で農村は生産性が低く、女子の人身売買、明治41年(1908)にブラジル移民も始まっているのだ。人口問題は貧富の差と経済上の問題なのだろう。僅か九十余年間に人口問題は時の政府の方針で増・減と全く逆に大変化。世論もそれに同調や無関心だった。今、狼がくるように少子化小子化と何故大騒ぎするのかを考えよう。

少子化は、住宅・生活(経済)教育などの総合的な政策の結果で起った現象であろう。その事を忘れて、人口を増やすことは、次世代は又産児制限万歳になるだろう。

世界の人口は、66億5千140人、1日で20万人、1年で8千万人も増えていきます。世界中で、1年6千万人が亡くなり、1億4千万人が

産まれます。貧富の拡大、温暖化

石油の枯渇が近づき、表土と森が失われています。水と食料が、病院と学校が不足しています。



人の生活が、太陽と地球からの恵みを超えそうです。戦争なんかしている場合ではありません！

動物も植物も、宇宙の中で唯一の生命なんだよ。内はインターネット「世界の人口」の丸写し

断を誤れば責任は政治家でなく自分と家族と子孫がとることになる。狼がくると少子化を大騒ぎするが本当はそんなに騒ぐ必要が無く、地球と庶民には、むしろ喜ぶべきことなのかも知れない。

しゃぐまのある家 金澤ひろあき



藤原道長、俊成、定家を祖先と冷泉家は、京都御所の北、今出川通り面しています。ふだんは拝見できませんが、秋の文化財特別公開で訪れました。人がいっぱいいます。御所の北にある所から、門の瓦は「玄武」。玄武は四神のうちの北の守り神とされている。熊だそうです。想像上の生物。他の玄関は、冷泉家の一族用です。瓦に玄と、主人用だそう。それ以外に「堀門(へいじゅもん)」はないでしょう。鬼瓦ぐらいいたら、まだ他にもあります。冷泉家には三つも、玄関が三つも

必見 長生きをしたい人

たばこを吸わず、飲酒はほどほど、野菜と果物を十分に取、適度な運動をする人は、そうした習慣のない人よりも14年長く生きられるとの調査結果を、英ケンブリッジ大学の研究チームが米医学誌に8日発表した。どれも健康に良いとされる生活習慣だが、具体的な利益をはじき出した点で意義があるという。

チームは、英南東部の45〜79歳の健康な住民約2万人を対象に、1993年から97年にかけて健康調査を実施し、2006年までの死亡率と生活習慣との関係を解析

その結果

(1) 喫煙しない (2) 飲酒はワインなら1週間にグラス1〜4杯まで (3) 1日に最低こぶし五分程度の野菜、果物を取る (4) 1日30分ほどの軽い運動をする習慣がある人は、四つともない人より同年齢で病気による死亡率が4分の1と低く、14年分の寿命に相当することが分かった。習慣と最も関連するのは心臓や血管など循環器系の病気だといふ。チームは、ちょっとした良い習慣の組み合わせが、長生きにつながるという。毎日新聞08年1月9日 健康・生活習慣で寿命に14年の差 英ケンブリッジ

床の間が神様の座で、部屋の真ん中にあります。南側の庭には、右近の橘と左近の梅。宮中では「梅」でなく「櫻」ですね。「櫻」にしたのは、平安時代、櫻が流行して以降の事。それ以前は「梅」だそう。本来の中国式の古式を冷泉家では守っているそうです。奥の間に掛け軸があり、『源氏物語』の「紅葉の賀」と「乙女」がテーマのものが対になっています。そして円山応挙筆の「鷹」。「鷹」のそばに、すすき活け跡つぎのなき旧家かな 金澤ひろあき様ご投稿 誠に有難うございました。

京都&東山 ぶらりりピカリ

4

阿弥陀ヶ峰

七条大橋から東を見ると正面に智積院の山門、その後ろに円錐形をした山が見える。優艶な山容は、清少納言(せいしょうなごん)が



「枕草子十二段」で嘆賞しているとか。東山七条から女坂を上り突き当たると鳥居があり太閤担(たいこうだいら)といつ名の広場がある。この広場は慶長3年(1598)8月18日、63才で没した秀吉の遺言によって、阿弥陀ヶ峰の中腹に葬られ、廟と壮大な社殿が建立され、元和元年(1615)豊臣氏の滅亡と共に、破壊された跡地。そして明治30年(1897)



秀吉300年忌に、広場奥から約5百段の石段、中ほどの平地にこの阿弥陀ヶ峰頂上に巨大な五輪石塔が建てられて豊国廟が再建された。社殿は、明治13年(1880)旧万広寺大仏殿跡に、豊国神社として再建されている。太閤担は京都の隠れた桜の名所でもある。

頂上に戦時中は高射砲陣地がつくられ立入は禁止されていた。皮肉にも昭和20年1月16日夜明けの絶好の遊び場であった。

前、陣地の山裾の東山区馬町(現・東山小学校付近)が米軍機の爆撃で死者が多数でた。今はこの太閤担付近でも子供たちの姿は見えないが戦後は、ここから北は將軍塚、南は稲荷山にいたる東山の峰々は、「虫取り」や「冒険」をする子供たちの絶好の遊び場であった。

よとの命令を受け、堀内(現近鉄丹波橋)前後の線路を変更、京阪電鉄と相互乗り入れ運転をするようになったのは1945(昭和20)年12月で、これで京都、奈良間が結ばれました。しかし朝夕を除けば乗客は少なく、昼間は1両の電車が30分毎に走る姿が見られるのでした。

京阪・近鉄は、増発をするために丹波橋での相互乗り入れ運転を1968(昭和43)年12月に止めることにしました。ご投稿を戴いている沖中忠順様のご本です。

高年齢者講習終了、自動車運転講習56年。証明書を貰った。転機30年無事故無違反(捕まっていなくて)で「緑××勳章」を持つ私も70歳を超えたため「講習」を受けないと駄目で先日講習所で行った。受講者は、最高齢の方は87歳とか。「息子がひき逃げ事故で脳死で病院に通つたため免許が要る」と話される。私が一番若いよだった。交通事故の恐ろしさをビデオで見、目の検査と実地運転をした。成績は満点、40才と同等の視力と柔軟な体力があるとされた。3時間と7千円以上の費用を使って終了証明書を頂戴。中男は教訓を得た。

この雪で迷惑を掛けているとの文もある。彼は紛れもなく西院や太秦と同じ京都市右京区民。聞くところケイタイの電波も届かないとか。併合された京北町と京都市内の落差は大。丹波と京都はイコールで無い。小は小、大はの良さが有るだろうに。

「(注)4ページ「ぼつたら」記事のマーチ18歳とヨシちゃん2歳? M子さんの写真は無い」

「高年齢者講習終了、自動車運転講習56年。証明書を貰った。転機30年無事故無違反(捕まっていなくて)で「緑××勳章」を持つ私も70歳を超えたため「講習」を受けないと駄目で先日講習所で行った。受講者は、最高齢の方は87歳とか。「息子がひき逃げ事故で脳死で病院に通つたため免許が要る」と話される。私が一番若いよだった。交通事故の恐ろしさをビデオで見、目の検査と実地運転をした。成績は満点、40才と同等の視力と柔軟な体力があるとされた。3時間と7千円以上の費用を使って終了証明書を頂戴。中男は教訓を得た。

「高年齢者講習終了、自動車運転講習56年。証明書を貰った。転機30年無事故無違反(捕まっていなくて)で「緑××勳章」を持つ私も70歳を超えたため「講習」を受けないと駄目で先日講習所で行った。受講者は、最高齢の方は87歳とか。「息子がひき逃げ事故で脳死で病院に通つたため免許が要る」と話される。私が一番若いよだった。交通事故の恐ろしさをビデオで見、目の検査と実地運転をした。成績は満点、40才と同等の視力と柔軟な体力があるとされた。3時間と7千円以上の費用を使って終了証明書を頂戴。中男は教訓を得た。

京阪七条交差点をめぐる

(6) 「奈良電」が走る

沖中忠順 (おきなかただより)

京阪線を走る「奈良電」



【写真説明】鴨川正面橋から撮影されたもの白い建物は正面市場

鴨川べりをダークグリーンとクリームの塗り分けで、走っていた電車が姿を消して40年近くになります。今は近鉄京都線と名を変えた、奈良電こと奈良電気鉄道の電車だったのです。奈良電は大和西大寺・桃山御陵前間で1928(昭和3)年11月開業、京都駅乗り入れは12日後、この年の昭和の御大典に向けての開通でした。京阪電車丹波橋付近、京都間は1895(明治28)年開業の奈良鉄道線路敷跡でした。本稿の(3)でJR奈良線の線路付け替えを少し触れておきました。戦時体制下、京阪電車と接続せ



京阪特急の本11890円。ご入用の方取よせいたします。



「O氏」のメール写。併合された京北町と京都市内の落差は大。丹波と京都はイコールで無い。小は小、大はの良さが有るだろうに。

「高年齢者講習終了、自動車運転講習56年。証明書を貰った。転機30年無事故無違反(捕まっていなくて)で「緑××勳章」を持つ私も70歳を超えたため「講習」を受けないと駄目で先日講習所で行った。受講者は、最高齢の方は87歳とか。「息子がひき逃げ事故で脳死で病院に通つたため免許が要る」と話される。私が一番若いよだった。交通事故の恐ろしさをビデオで見、目の検査と実地運転をした。成績は満点、40才と同等の視力と柔軟な体力があるとされた。3時間と7千円以上の費用を使って終了証明書を頂戴。中男は教訓を得た。

写真の説明
おんな坂のどんつき階段の上にある「太閤担」
太閤担の拝礼所の後にある階段・廟まで5百段ほどあり。
(階段は有料)
階段中ほどにある門
ここから階段が急になる。
太閤殿下(豊臣秀吉)廟



酒屋で生きて 生かされて

第二十五話 店のビル化計画(中段)

立飲み酒処は、うどん屋「東山めん坊」に業態を変えました。8時は酒の値段は上げず営業しましたのでお酒の良く売れました。ワイン&フーズサカタも「セール」や清酒京晴や名門酒会の酒が店の売上を引き上げてくれ、業務用酒販売も南禅寺順正さん他大口の飲食店やスナックのお取引先のご来店で好調に売上が伸びました。

京晴、名門酒の販売店で協調してイベントや売出し、ワインの「8」瓶詰めもいち早く取上げ、売上は年々増加しました。一方では、昭和38年から「酒販売免許」で保護されていた業界も何れは「自由競争時代」がくるだろうと危機感をもっていました。又石油ショック時に情報の大切さと数字管理の重要性を知り、コンピュータに関心をもちました。

「た」言います。翌日kさんにお願いで家を譲り受けました。更に56年にその隣地も手にはいりました。そこで京阪電車の地下化完成後、店のビル化を考え始めました。

手始めに酒屋事業に集中のため「東山めん坊」を店長のMK君に運営を任せました。酒屋の販売している調味料や食品はスーパーと価格競争が厳しくなり、類が酒に及ぶのは近い、酒類では借入して建築しても返済が出来ないと次の事業として「コンビニ」の勉強をはじめました。

そのころ直ぐ西に「マイショップ」が出店、食料品の売上が日々目に見えて減ります。価格競争に付いていけない食品菓子の扱いを減らしビル化

ぼうだら煮



京都のお煮しめに棒鱈煮がある。私はお煮しめの中で、それが大好き。昔は祖母の味、次ぎに家内の味で、正月にお雑煮とともに食べてきた。

年中無休、盆正月、夜昼のもないコンビニをしてから家内のお煮しめつくりの時間が少なくなりました。それを見かねて、私が「ぼうだら」の好きなことを知っていた「マーチ」(3ページ写真有)の奥さん(M子さん)が毎年

計画を前倒しました。あちこちの勉強会、店舗見学をしながら、建築資金借入額を想定します。

コンビニと言っても京都では「ローソン・ファミリア・マイショップ・ニコマート」しかなく各コンビニ本部の話聞き、私の計画との差異を検討しましたが余りにも差が大きく判断に悩みました。ある時ファミリアマートの役員が来店され話を聞き同子エーの他の地区店舗見学を共にし参加をきめました。

商売は少し大きくはなつていきましたが手元の資金は余裕がなく、全て借入ですから、古い建物は全部更地にし一部は更地で残してビル建築計画に入りました。

暮につくつて届けてくれる。もう20年以上それが続いてきた。「マーチ」とは、祖父の代丁稚奉公にきた「政吉とん」。幼かった私はお守り役の彼を「マーチ」と呼び、彼は私を亡くなるまで「ヨシちゃん」と呼んだ。

さて、その「ぼうだら」祖母や妻のと堅さや味が微妙に違うので、最初はM子さんに味などに注文をつけていた。近年はいつもその味に満足、私の中で、いつの間にか煮しめの「ぼうだら」はすっかりM子さんの味になっているのだった。昨年の正月7日に(2007・平

成56年)それを食べた。日が経って食べたので少し堅くなつてはいたがM子さん味ゆつくり味わい噛み締めながら、もう来年(2008)からは食べられないと思うとグツと涙が出そうになった。

M子さんは、暮れの27日(2008)自宅で、(私の)ぼうだらを炊き上げ、一服で好きなお餅を食べ、それを喉に詰めて、救急車で病院に搬送された。そばにいた息子H君から電話で知らされ駆けつけ、ベットの横で耳元に大声をかけ、手の甲をつねつても、黙をかいてるだけ。医者はここの一週間が山だという。毎日病院に寄るが、黙はとまなり、安心した穏やかな寝顔だが意識は戻ってこない。

この騒ぎで年の暮れに豊国神社と新日吉神社へ届けるご神酒が元旦になった。いつものように初参りの後、新日吉神社でお神籤を引き【大吉】とでた。その時ケイタイが鳴り、H君が、母の病状急変を知らされた。間にあつたが1時ころ息を引き取った。これが何で大吉や!!!。昨年正月4日葬儀と初七日も終えた。火葬場で「ぼうだらは後でよばれる工おおきに」と小声で言った。M子さんの顔は入院中と同じ優しくふつくらとしていた。M子さんと「マーチ」は五十年前結婚、以後も夫婦と深

い付き合いが続いた。私の生まれ当分の事情を知る数少ない人だったが、生母のこと一切私に話さなかった。「マーチ」もM子さんも両親との縁の薄い人だったので言うに忍びなかったのかも知れない。「マーチ」は父を追いかけるようにおなじ年(昭和56年)に亡くなっている。「マーチ」夫婦は私の前でも頻繁に口喧嘩をしていた、28年ぶりに気兼ねなく夫婦で口喧嘩出来るのが「大吉」だろうか。

編集後記

2月号を作成中、パソコンの電源が落ちた。バックアップは取ってあるが入力が出来ない。電源を切ったり、入れたたりして一時修復したが危険な状態だった。新PCを購入し、22日、24日友人に頼みデータの入れ替えが終りやっと安心して作成出来る状態にはなつたが、キーボードがなじまず変な感じ。なれるまで時間がかかりそう。でもガンバろう。

○1月末締めでお願いしたアンケートのお返事は約百通、今もお葉書の回答がくる。厳しいお叱りも励ましもある。

駄々っ子のようなことを言つて恥ずかしい。百八号までとの「ゴント」は止めて、続けられる所まで「トンからりん」続けていこう。○ゴントを言っている最中なのに嬉しいことに友の会会員様が増えしてきた。子供時代の、「泣きでゴントのヨシちゃん」が60年以上立っても残っていたよかったです。○「ゴメンなさい。」「とんからりん」は続けます。応援をお願いします。